

第12課 一緒に行かない？

中国のお正月

日本のお正月といえば除夜の鐘や初詣をイメージする人が多いと思います。厳かで静かな雰囲気ですね。一方、中国のお正月の風物詩といえば爆竹や獅子舞で、にぎやかで威勢の良い雰囲気です。爆竹は古くは竹の筒に火薬をつめて火をつけ、その爆発音で邪悪を追い払うという習慣がありました。現在では火薬を紙で包み、竿の先につるしたものが使われます。元旦には、家々で爆竹を打ち鳴らし、町中に爆発音が響きわたります。ただし、近年は大気汚染の深刻化で、都市部では春節の爆竹が禁じられたり、制限される動きもあります。爆竹の使用が許可されている地域では、だいたい一度につき1千～2千発、多いときには1万発も鳴らすといます。こうなると、立て続けの爆音とともに、一帯には大量の煙が立ち上り、とても窓を開けて爆竹の様子を観察できる状態ではありません。

中国にももちろんお年玉“压岁钱”がありますよ。金文字で“压岁包”と書かれた赤い袋に入れます。

そうそう、中国のお正月は“春节”といって、西暦ではなく旧暦でお祝いするというのもお忘れなく！

参考：高等学校中国語教育研究会関西支部 HP http://kochuken.org/kansai/?page_id=101